

大高 司郎 ガバナー 地区スローガン	「 BE THE INSPIRATION 」 “ 元気な一歩、共に成長するクラブの力 ”
海野 宏幸 会長スローガン	「 夢の持てるクラブに！ 」
本日のプログラム	次回のプログラム
第1688回例会 5月28日(水)18:30～ 於 ホテルクリスタルパレス * 次期クラブ協議会(1) 地区協議会報告次期会長・幹事、次期委員長 (クラブ会員組織、クラブ運営管理、職業、社会、 青少年、国際、財団、米山)	第1689回例会 6月4日(水)12:30～ 於 ホテルクリスタルパレス * 新入会員卓話 空 英俊会員(株式会社Sora 代表取締役)

5月＜ 青少年奉仕 月間 ＞

本日のプログラム
○次期クラブ協議会(1)
地区協議会報告

5月14日例会報告(第1687回)

幹事報告	厚見 和則幹事
1. 3月28日に発生したミャンマー大地震では甚大な被害が出ております。 こうした状況を踏まえ、第2820地区として支援金を送ることが決まりました。 会員一人あたり1,000円の支援をいたしますのでご報告いたします。	
2. 2025-26年度のロータリー手帳が届きました。希望された方はお持ち帰りください。	

出席報告		報告者 出席委員会 桐嶋 健二委員長			
会員数	出席免除者 (うち出席)	対象会員数	出席者	欠席者	出席率 (%)
34	4(うち出席1)	31	19	12	61.3
出席免除者(下線は例会出席) <u>高橋 昭</u> 会員、中井英一郎会員、大部 泉会員、瀬谷利雄会員					

大牟田 弘文

5月14日は「けん玉の日」です。元々江戸時代にフランスから入ってきましたが、今では「KENDAMA」として世界的に認知されています。

海野 宏幸

本日は職場訪問で、日本照射サービスの工場見学会です。楽しみにしています。

職場見学会

報告者 職業奉仕 橋本 壽郎委員長

日本照射サービス株式会社 東海センター (Japan irradiation Service Co.LTD)



日本照射サービス株式会社は、ガンマ線および電子線を用いた滅菌・殺菌処理サービス、改質処理サービス、各種照射試験を提供する企業です。本見学会では、施設の設備、業務内容、照射技術の応用例について詳しく説明を受けました。

主要設備には、以下のものがあります：

- 医療機器、不織布・衛生材料、理化学・臨床検査器材などの滅菌を行う 滅菌・殺菌処理設備
- 医薬品や食品包材の照射試験を実施するための 照射設備

今回の見学を通じて、照射技術が医療・産業分野において重要な役割を果たしていることを学びました。特に、滅菌技術の信頼性と安全性、および改質処理による材料の機能向上について理解を深めることができました。(ゴルフボールなど)

また、日本照射サービス株式会社の照射技術は、医療・産業界に広く活用されており、高度な技術力と安全管理体制が整っていることを確認できました。本見学会を通じて、今後の研究や業務に役立つ貴重な知識を得ることができ、大変有意義な機会となりました。

最後に、ご説明いただきました梅津社長様に心より感謝申し上げます。

2025-2026年度 地区研修・協議会報告

日 時 2025年4月13日(日)9:00—15:00

場 所 つくば国際会議場

ホスト 水海道ロータリークラブ

報告者 2025-2026年度会長 猪股 真純

幹事 鶴田 哲男

【全体の流れ】

本会議場であるつくば国際会議場メインホールに、瀬戸隆海ガバナーエレクトによる点鐘が響き渡り、地区研修・協議会がスタート。

染谷秀雄実行委員長(水海道RC)による開会宣言、国家ならびにロータリーソング「奉仕の理想」斉唱、ホストクラブである水海道RC五木田会長による歓迎の言葉、そして、瀬戸ガバナーエレクトから地区役員が紹介された。

続いて大高司郎ガバナーからガバナーノミニー(藤本章吉氏:しもだて紫水RC)が紹介され、挨拶があった。

次に、中村澄夫ガバナー指名委員会委員長から、ガバナーノミニー・デジグネート(清野宏之氏:土浦南RC)が紹介され、挨拶があった。

いよいよ、瀬戸ガバナーエレクトによりRI会長メッセージと地区方針が発表される。(内容は後述)

休憩を挟んで、新型コロナウイルス感染症対策本部の下に設置された新型コロナウイルス対策専門家会議で副座長として対策の推進に当たった尾身茂氏による「ポリオ根絶—ロータリーへの感謝と期待—」と題した基調講演が行われた。(概要は後述)

午後は、6つのグループに分かれて分科会。会長、幹事が参加した第1グループでは、地区資金関係について説明があり、地区資金予算、基金及び協力金予算が承認された。

分科会終了後は、再び本会議場に集合し、大高ガバナーから3Year Targetsについての説明があった。その中で、My Rotaryクラブセントラルには、2025-2026の計画事項に加えて2026-2027も入力するよう要請があった。また、クラブ各委員長には、当該年度の活動報告には、実績だけでなく申し送り事項を必ず記入するよう合わせて要請があった。

その後は、青木正弘地区幹事(水海道RC)、倉持功典地区資金委員長(水海道RC)による挨拶、藤本ガバナーノミニー所感、大高ガバナー総評、古屋 満地区副幹事(水海道RC)による閉会の辞があり、ロータリーソング「我らの生業」斉唱、瀬戸ガバナーエレクトによる点鐘で、地区研修・協議会が締め括られた。

【本会議】

1. RI会長メッセージと地区の方針の発表(瀬戸 隆海ガバナーエレクト)

①2025-2026国際ロータリー

マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ メッセージ

よいことのために手を取りあ う (UNITE FOR GOOD)

②ロータリー行動計画

キーワードは「持続可能な変化」

優先事項1 「より大きなインパクトをもたらす」

優先事項2 「参加者の基盤を広げる」

優先事項3 「参加者の積極的な関わりを促す」

優先事項4 「適応力を高める」



2. 地区行動指針

時は今 ところ足元 そのことに

打ち込む命 永久の御命 (椎尾弁匡 御作)

(解説)

今、何が大切かと考えたとき、結果としてこの一瞬をできる限り努力することに尽きるのではないのでしょうか。人は、ついつい先を見て焦ってしまいます。先走ってやらなくてもいいことをして失敗してしまいがちです。でも足もとを確実に固め、ゆっくりといいいからです「生ききる」ことです。その打ち込む姿勢が「永遠の命」に帰結していきます。(瀬戸 隆海ガバナーエレクト)

<地区数値目標>

①会員数(ロータリアン、ローターアクター)→ロータリーの財産

- ・地区目標2,000名…2820地区を運営していくには2,500人が必要

ロータリークラブ(含む衛星クラブ会員) 純増 クラブ会員数×8%

ローターアクトクラブ 純増 1名

- ・特化型の衛星クラブ創立の促進

②ロータリー財団寄付

- ・年次基金寄付 150ドル/人

- ・ポリオプラス基金 30ドル/人

- ・恒久基金(ベネファクター) 各クラブ1名以上

- ・ポリオプラス・ソサエティー(PPS) 現PPS会員+クラブ1名以上

- ・ポール・ハリス・ソサエティー(PHS) 地区100名位以上維持

③米山記念奨学会寄付

- ・会員一人当たり25,000円(普通寄付5,000円:特別寄付20,000円)

④My Rotaryの登録推進と活用促進

- ・会員登録 全会員の85%以上

<地区行動指針>

①ポリオ根絶のためのプロジェクト

世界ポリオデーに合わせ、地区全体事業としてイベントを実施

(10月26日 於 つくば市)

②ウクライナ支援事業のためにICC(国際共同委員会)設立に参画

③Diversity(多様性)、Equity(公平性)、Inclusion(インクルージョン)の促進

④公共イメージの向上

⑤会員維持率の向上と増強

⑥ローターアクトクラブの活性化

⑦青少年育成事業の推進

⑧RLIへの積極的参加

⑨メイクアップの奨励

⑩My Rotaryの活用推進及び「ロータリーの友」の積極的な購読

⑪クラブ優秀賞への挑戦

⑫国際大会への参加

2026年6月13日～17日 in 台北(台湾)

⑬ロータリー希望の風奨学金支援の継続

東日本大震災災害孤児への教育支援。一人1,000円支援を任意で

3. 基調講演

ポリオ根絶 ～ロータリーへの感謝と期待～ 尾身 茂氏

WHOで仕事を始めた1990年当時、ポリオの根絶は不可能だと思われていた。対策はワクチン投与だが、最大の課題は資金調達。そこで、1991年に東京で国際会議を開いて支援を呼びかけたが、資金援助の申し出は一つもなかった。

1992年10月、北京でもう一度開いた国際会議で新たな展開が。ロータリーが150万ドルの資金援助を申し出てくれたのだ。これが、最初の本格的な資金となった。本当にありがたかった。ロータリーはその後も、資金の提供だけでなく、真のパートナーとなって現場でのワクチン投与や草の根レベルでの啓発活動を行ってくれた。その世界的ネットワークを活かして政府や団体への働きかけも行ってくれた。

ロータリーからの支援を機に、信頼と注目が高まり、ほかのところからも資金が入り始めた。各国政府や地方自治体と協力して監視体制や検査体制を整備し、研究機関との連携も行われるようになった。

現在、世界中のほとんどの地域でポリオは無くなっている。しかし、パキスタン、アフガニスタンなど医療体制が脆弱で紛争が続く地域には今もポリオが存在している。ガザのように、混乱が再び感染を招いてしまうこともある。そうなれば、これまで数十年もの進展が水の泡になってしまう。

最も困難なのは、最後の一步。それはどの感染症でも同じ。だからこそ、何度でも決意を新たに、前進しなければならない。

ロータリーの役割は、今まで以上に重要になっている。ポリオ根絶の歴史は、皆さんが切り開いてくれた。これからもポリオ根絶に尽力いただけている。感謝の気持ちと共に皆さまへの期待を申しあげ、本日の講演を終わらせていただく。



分科会報告(クラブ奉仕委員会・クラブ管理運営委員会)

報告者:次期クラブ管理運営委員長 目黒 伸也

- ① RI会長テーマ「良い事のために手を取り合おう」
- ② 2820地区ガバナーテーマ「すべての道は会員の笑顔に通じる」

1)井上誠総括委員長

会員の維持は楽しいクラブ作り(3つの方法で増強)

① クラブサポート委員会

- ・クラブ戦略計画の作成
3年間のクラブの目標、方向性を作成
(現状分析、ビジョンの作成、計画作成、進捗の確認等)
- ・大事なことはクラブの継続性

分科会報告(職業奉仕委員会)

報告者:次期職業奉仕委員長 高橋 琢

1.『職業奉仕』という概念

- ・職業上の高い理念基準
- ・役立つ仕事はすべて価値あるものという認識
- ・社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものとする
- ・職業奉仕は倫理規範

2.『職業奉仕の実践例』

- ・例会で各会員が自分の職業について話し、互いの職業について学び合う
- ・地域社会での奉仕プロジェクトで職業スキルを生かす

3. 職業奉仕とそれぞれの奉仕活動

- ・若者のキャリア目標を支援する⇒青少年奉仕
- ・専門能力の開発を奨励し指導する⇒青少年奉仕、社会奉仕、国際奉仕
- ・高潔さを重んじて仕事に取組み、言動を通じて模範を示すことで倫理的な行動を周囲に促す(四つのテスト)⇒世界平和
- ・職業奉仕の精神は奉仕部門の大地であり、幹である！

4. マイロータリーを活用して、職業奉仕を学ぼう！

- ・ラーニングコースを活用して学ぼう

1. 地区委員会の役割(社会奉仕委員会)

- ・クラブに成功事例やリソース、地元団体、地区委員会、奉仕関連の他のロータリーグループを紹介することで、クラブによる社会奉仕を援助し、クラブがロータリー地域社会共同体をスポンサーして地元市民との関係を築けるよう支援する。
- ・各自の才能や職業スキルを生かして奉仕プロジェクトを計画、実施するようクラブ会員に奨励することで、職業奉仕を推進する。
- ・社会奉仕活動を実施し、成功例を紹介するようクラブに奨励する。

2. ラーニング形式の研究会の開催

- ・ラーニング形式とは? Rotary Leadership Institute(RLI)

今までの「基調講演⇒事例発表」という、講演会方式から脱却し、研究会にご参加いただく皆さんの意見を取り纏めます。そして、それに基づき全員で協議・検討を行い、当地区での最適な方向性を一緒に導き出していきます。

「答えありき」ではない、役立つ・実践的な研究会を実施いたします。

- ・ロータリークラブ以外も含めた幅広い各種団体を巻き込み、ロータリー地域社会共同体として地域、特に今後の地域を背負って立つ若者に役立つロータリー活動の支援となる研究会を実施します。

3. クラブに成功事例を紹介

- ・主に地区補助金活用事業の中から、現在の社会的なニーズに合致した事業を抽出し、実施クラブから事例発表を行っていただく。発表の場として、ラーニングセミナー・研究会を実施する。
- ・同じ2820地区の中でも、分区ごとに社会奉仕事業の特色があり、A分区では当たり前に行われている事業が、B分区では全く該当事業がない場合も多い。
- ・新しい事業を発掘する。

各地区の新しい事業を紹介してもらう。

- ・ロータリークラブが中心となって、【地域社会共同体】を組織するような事業の構築を 全力でバックアップする。

4. 新たな社会奉仕事業の創出支援

- ・地元高校と地域をつなぐコーディネーター

都心へ流出する傾向にある若者と、次代の担い手が不足する企業との橋渡し。

- ・キャリアコーディネーター

学校と連携し、自クラブの会員企業や職業・業務内容について、就職を希望する学生に説明会等を実施する。

- ・ロータリーインターンシップ

学校の進路指導の一環として、会員企業へのインターンシップを斡旋する。

また、市内企業の見学バスツアー等の企画で地元の魅力ある企業の紹介を行う。

分科会報告(国際奉仕委員会)

報告者:次期国際奉仕委員長 橋本 寿郎

1. 職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕3大奉仕:メインホール於

2. 総括委員長:村上 義孝(つくば学園)より説明

WCS・グローバル補助金・国際交流奨学金担当:松本 幸子

国際交流(フィリピン担当):柴山 博光・(タイ担当):録田 幸裕・(ネパール担当):中島 賢一

「この指とまれ」事業の推進について(締切日:6月30日)

一つのクラブでは資金的に困難な時、もう少し大きな事業をしたいとき、でも、グローバルグラウンドを使う程の事業ではないときに、地区内のクラブに賛助を募り、「賛助クラブがお金を出し合って事業を支援する」プログラムです。

7月19日(土)の「奉仕プロジェクト研究会」でプレゼンを行い、賛助クラブの協力を呼びかけます。

*目標10プランです。(去年は3プランでした)

提唱クラブの魅力あるプロジェクトに多数の賛助クラブが集まり、内容の濃いグローバル事業が実施されることを期待しております。是非、多くのクラブからの積極的なご参加をお待ちしております。

分科会報告(青少年奉仕委員会)

報告者:次期青少年奉仕委員長 大森 龍一

分科会報告(第4グループ青少年 ローターアクト委員会)

1. 担当カウンセラー挨拶 中村澄夫

2. 新年度活動について

*青少年奉仕総括委員長 宇留野 秀一

総括委員長より青少年奉仕活動の全体的な概略説明があった。

*インターアクト委員長 柴沼 博之

12才~18才中高生が対象。クラブ活動として実施。

*青少年並びにライラ委員長 渡部 俊介

14才~35才でセミナーに参加。

*青少年交換委員長 軽部 守彦

長期青少年交換:アメリカ、タイ、フランス他

短期青少年交換:タイ他

応募締切:2025年9月末日

*ローターアクト委員会総括委員長 塚越 俊祐

*ローターアクト代表 水村 成也

3. 各クラブの依頼

*青少年交換事業・ライラセミナーの周知

*ライラセミナー受講者の推薦、出席

*青少年奉仕・ローターアクト研究会 (7月27日(日)ホテル日航つくばへの参加

*インターアクトの新規加盟推進

*ローターアクト関連

4. 年間スケジュール

*インターアクト年次大会 8月8日(金)つくば国際大学

*インターアクト台湾研修 12月予定

*ライラセミナー2026年5月・水海道あすなろの里

*長期青少年交換留学・申請締切 9月末

*短期青少年交換留学(タイ)12月予定

*ローターアクト地区大会 4月予定

*ローターアクト公式訪問 8月31日(日)

*ポリオ根絶イベント 10月26日(土)つくば市

分科会報告(ロータリー財団委員会)

報告者:次期ロータリー財団委員長 鈴木 正人

1. 瀬戸年度財団方針

R財団総括委員長 大野治夫

ポリオ根絶はロータリーとしての最優先事項として位置づけロータリー財団寄付の奨励

2. ポリオプラスについて

ポリオプラス委員長 関 康彦

ポリオ根絶はロータリーの最優先事項。ポリオ根絶まであと一歩としながら2024年はパキスタンやガザ地区で発生

年次寄付150ドル・ポリオ寄付30ドル/人(計180ドル=日本円最近のレートにおいて約26,017円)

※プラス…麻疹(はしか) 結核 ジフテリア等

3. ポリオプラスソサィティ(PPS)について

資金監理推進委員 瀬戸 進

ポリオプラスソサィティ(PPS)会員募集 ⇒ 現PPS会員 + クラブ1名以上

毎年100ドル『ポリオプラス基金へ寄付』

4. 地区補助金について

補助金担当 菊池泰正

仮申請現在10クラブ(04月18日締め切り)

5. グローバル補助金について

グローバル補助金委員長 尊田 京子

6. 財団奨学金について

奨学金・学友担当 田上 悟史

日本人の海外留学生に3万ドル/年

7. 資金推進・ポールハリスソサィティ(PHS)について

資金管理推進委員 八木 健二

ポールハリスソサィティ(PHS)会員募集、地区100人以上維持

8. ロータリー平和シップについて

平和フェローシップ委員長 木村 英博

9. ロータリーカードについて

ロータリーカード推進委員長 白岩 大樹

使用金額の0.3%が財団にポリオ寄付される。

10. ディスカッション

ファシリテータ 新井 和雄

・瀬戸年度地区ポリオイベント

・ポリオプラスソサィティについて

等々

分科会報告(米山記念奨学会委員会)

報告者:次期米山記念奨学会委員長 島田 智和

2025-2026年度方針

ロータリー米山記念奨学会では、勉学又は研究のために来日し、大学等教育機関に在籍する外国人留学生に対して、全国のロータリアンからの寄付金を財源とする奨学金を支給し、支援する国際奨学事業を行っております。

本事業は国内で民間最大の国際奨学事業であり、年間約900人の奨学生を採用しております。

事業の使命は、将来、日本と世界を結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成することにあります。

今年度の目標、特別寄付として年間20,000円/一人以上の目標達成をめざす。

2025-2026年度年間スケジュール

- 1.2025年度米山記念奨学会オリエンテーション 4月12日(土)
- 2.米山記念館訪問 5月25日(日)
- 3.研究会 8月24日(日)
- 4.新春の集い 1月25日(日)
- 5.終了式 3月 7日(土)

東海那珂ロータリークラブ

クラブ事務所 〒311-0103 茨城県那珂市横堀1721-6 常陸環境開発株式会社

電話090-7517-2473/E-mail:Tokainakarotary@gmail.com

例会場 〒312-0023 茨城県ひたちなか市大平1-22-1 ホテルクリスタルパレス内

電話029-273-7711

クラブ会報委員会 委員長 高橋 琢 /副委員長 藤田 明英/委員 佐藤 広道 瀬谷 利雄 藤澤 亮
大牟田 弘文

例会欠席の場合は、必ず前日までに事務局に連絡してください